



SSH通信

第22号

令和5年3月24日 発行

東京都立富士高等学校

東京都立富士高等学校附属中学校

〒164-0013 東京都中野区弥生町五丁目21-1

電話 03-3382-0601

最寄駅 東京メトロ丸ノ内線 中野富士見町駅

令和5年度へ向けて ポスター改善

探究発表会での質問や助言を踏まえて、ポスターを改善しました。今年度の代表作品を選出し、SSHコーナーや各階に掲示します。科学探究部生物班の生徒が日本生物教育学会に挑戦し、「優秀賞」を受賞しました。

富士未来学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ

「ポスター改善」全学年

探究発表会での異学年による質疑応答を基に、ポスターを改善しました。振り返り報告書の生徒の記述には「質問によって、自分の研究の意味を再確認することができた。」「自分だけが分かるポスターでは、だめなのだと気づいた。」などの記述が見られました。ポスターの改善をとおして、課題発見、課題解決のPDCAサイクルを自ら回す力を育成しています。



助言や質問を基にポスターを改善

科学探究部化学班 実験会

東京農工大学の佐藤先生をお招きし、実験会を行いました。「『燃焼とはなんだ!』～実験をしながら燃焼や爆発について考えてみよう～」をテーマとして部員や希望生徒が参加しました。燃焼の定義を考え、高さの違うろうそくの火の消え方を比べたり、炎色反応を観察しました。科学探究部化学班では次年度以降もこうした実験会を多く行えればと考えています。



燃焼とは?

高大連携授業—生物基礎— 3月7日(火)

高校1学年を対象に生物基礎で高大連携授業を実施しました。本校のPASEOとしても協力していただいている、東京農工大学修士課程2年生の森田晴歌さんが講演をしてくれました。生態系と生物多様性をテーマに、森田さんの研究にも触れていただきました。靴についた種子が外来種の導入につながってしまうなど、身近な問題について理解を深めることができました。



生態系と生物多様性がテーマ

科学探究部生物班

日本生物教育学会 3月5日(日)

生物班が優秀賞を受賞しました

3月5日(日)の日本生物教育学会第107回全国大会、中高生ポスター発表に、科学探究部生物班の中学生4人が参加し、中学生部門で「優秀賞」を受賞しました。

「ミジンコの飼育に適切な飼育水の検討」というテーマで、ポスター発表(発表4分、質疑応答4分)をしました。「ミジンコを食べたい!」という動機で研究を始め、綺麗な環境でミジンコを飼育するための餌や飼育水を検討しています。部活動や放課後の時間に実験データを取り、富士未来学で学んだことをベースに研究をポスターにまとめました。さらに指導教員とのやりとりをとおして改善を重ね、ポスターを完成させていきました。定期考査があり、思った通りに練習時間がとれませんでした。校長先生や理数科の教員に発表を見てもらい、アドバイスをいただいて、改善を重ねました。当日は少し緊張していましたが、4人とも堂々と立派に発表することができました。審査員の方との質疑応答にもしっかり応えることができていました。これまでの準備や練習の成果を十分に発揮することができたように思います。また、発表を聴いてくれた方とのディスカッションをとおして、今後の課題がたくさん見えてきたようなので、今後の研究に活かしてほしいです。ミジンコはどんな味がするのでしょうか。研究の今後に期待しています。



日本生物教育学会に挑戦



優秀賞を受賞!

探究発表会のポスター掲示

2月に行われた探究発表会のポスターをSSHコーナーに期間限定で掲示しています。探究発表会当日に、実際に見たポスターの中から、富士の教員が良いと思ったものを選びました。「ポスターがいいね!」「テーマがいいね!」「デザインがいいね!」に分類して掲示しています。その他、発表の様子が良かったとの報告も数多く挙がっていました。今後、全てのポスターから代表作品を選んで掲示します。



探究発表会当日に見たポスターから選出